

運営委員会幹事会議事録 (42.4.28)

出席者 百田, 坂田, 飯島, 岩城, 中島, 五十嵐

場所 V. d. G. 11号室

1. 42年度実行予算配分

原研の予算が4月24日頃決まる筈であつたが未だ決つていないので不確定要素が幾つかある。(供出, 運営費, 人件費の値上げなど)。計算費の20%位減ることがあるかも知れないという前提で各グループは実行計画をたてる。不確定部分は9月末までにはつきりさせる。旅費については各グループの幹事会等を見込むと若干の修正を要する。

○43年度概算要求

そろそろデータセンターとしての体制を明確にするため, 3年計画を立てて, 43年度はその第一年度として研究員3名, 補助職員3名と2000万円の予算要求をする。

センターの構想は次回運営委員会に案を出して討論する。

(5月19日 東京で開く)。

2. CCDN との関係

5/26 からモスコでIAEA のmeeting がある。その際CCDN のColvinと話をするが, JNDC としては次のことを申し入れる。

① CINDAについて。分冊にしたlist を配布するようなら, master tape のcopy ももらいたい。その場合 reviseされたmaster tapeが出た場合はそのcopy をもらい旧いのを返すような方法が考えられる。

② SCISRSについて。request のあつたものについてはその部分のtape copy をもらいたい。

3. JNDC の体制

提出資料について討論, 若干修正があつたが承認。

4. Request for nuclear data evaluation

何日までに提出等と言うことはしない。request は出しておく方が良いのでそのようにすることを承認。

5. 次回運営委員会の日取りと場所

東京において 5月19日(金)開催することになった。

6. その他

- ① 運営委員の変更について岩城氏から学会に申し入れ、承認を得た。
- ② 炉定数グループ： 高速炉から参加者がある予定。
- ③ 熱化グループ： 富士電機の大竹氏が参加を希望。groupとしては承認した。

収集データが400位集つたので出版したい。

- ④ 40, 41年度報告を学会誌に出す。